

AMDA News Letter

Association of Medical Doctors for Asia

アジア医師連絡協議会

VoL.4 No.5 5月号

1991年5月15日

編集責任者 山本秀樹

事務局 岡山市栢津310の1 菅波内科医院

(電話) 0862-84-7676



AMDA国際医療情報センタースタッフ

主要トピック

AMDA国際医療情報センター便り

ロンドン便りNo3(遠田耕平先生)

クルド族難民救援合同委員会に参加

AMDA総会のお知らせ

AMDA/カレンダー/事務局便り/AMDA入会の案内

紹介記事:アジアの友(アジア学生文化協会)/もじとことばをかんがえる

(神奈川県国際交流協会) 広がる国際日の中で(読売)/在日外国人に対す

る医療保障(Volunteerネットワーク)/外国人に無料医療相談(日経)/

深刻な在日外国人の医療(毎日)

AMDA国際医療情報センター便り

154 東京都世田谷区新町2-7-1 横尾ビル201

(電) 03(3706)4243 (Fax) 03(3706)4420

お知らせ

1)勤務体制(4月30日現在)

	月	火	水	木	金	土
通訳						
英語	0	0	0	0	0	0
中国語	0		0	0	0	0
スペイン語		0	0			
ポルトガル語						
フランス語						0
ドイツ語					0	
事務局						
局長	0	0	0	0	0	0
局員			0		0	
局員	0				0	
医師						

小林米幸

0(午後)

中西泉

0(午後)

2)電話医事相談:外国人の国籍と件数(4月17日開始。開始前の相談を含む) (合計51件)

アメリカ	11	コロンビア	2
バングラデッシュ	9	ザンビア	1
パキスタン	5	アルゼンチン	1
フィリピン	4	カナダ	1
中国	4	イラン	1
イスラエル	2	シンガポール	1
韓国	2	アルジェリア	1
ナイジェリア	2	英国	1
スリランカ	2	メキシコ	1

3)電話医時相談:内容

母国語で診療してくれる医師/医療機関を紹介して欲しい
安い医療機関を紹介して欲しい
その他

4)その他の電話

ボランティアグループ、NGO、公共機関、ホテル、各種インフォメーションセンターよりAMDA国際医療情報センター業務についての照会

5)取材 テレビ、新聞、雑誌など多数あり

6)AMDA国際医療情報センター業務についてのパンフレットが完成しました。 ご希望の方はセンター事務局まで連絡を下さい

センター協力医療機関

- 栃木県 矢吹外科病院(宇都宮市)
群馬県 北関東循環器病院(勢多郡北橋)
千葉県 井上病院(千葉市)
東京都 青梅慶友病院(青梅市)。慶愛クリニック(豊島区、産婦人科)、中伝ビルクリニック(江戸川区、産婦人科)、林産婦人科医院(品川区、産婦人科)、富士見病院(板橋区)、町谷原病院(所田市)、六本木赤枝診療所(港区、産婦人科)
神奈川県 小林国際クリニック(大和市)
大阪府 福川内科クリニック(大阪市東成区)
岡山県 菅波内科医院(岡山市)、南くらしき病院(倉敷市)
福岡県 さく病院(福岡市博多区)
宮崎県 山元病院(日南市)
沖縄県 沖縄セントラル病院(那覇市)

上記の他にセンターより外国人患者を紹介させていただく医療機関が複数あります。

AMDA会員へのお願い

- 1) 捜してください。 連絡先: 小林国際クリニック(電)0462-36-1380
 - 1) AMDA国際医療情報センター事務局員1名 至急!
条件: 年令制限なし、週4日間午前9時から午後4時まで
ワープロや英語ができればより可、給与その他は相談の上
 - 2) ニュースレターへの広告掲載企業と医療機関(月1万円で年12万円)
- 2) 情報を下さい。 連絡先: センター(電)03-3706-7574又は4243
 - 1) 各医療機関の保険外診療費(非会員):
例えば保険診療の10割、15割、20割、25割、30割
 - 2) 外国語で診療できる医師と医療機関
- 3) 募集。 連絡先: 小林国際クリニック(電)0462-36-1380
 - 1) 「在日外国人の医療問題」「もっと知ろう外国の医療習慣」などのシンポジウムを1992年1月以降に御自分の地域で開催して欲しい方は御連絡下さい。
 - 2) AMDA国際医療情報センターにボランティアで来てくださる医師。
週半日又は1日。外国人などからの電話相談についての応答や指示。
 - 3) 7月7日(日) 在日中南米日系人のためのラテンアメリカフェスティバル(藤沢市、ラテンアメリカコミュニティ主催、藤沢市後援)に無料医療相談を手伝ってくださる医師。
- 4) AMDA国際医療情報センター(東京)とAMDA事務局(岡山)を混同しないで
 - 1) AMDA国際医療情報センター(東京)への寄付や広告は下記へ
郵便振替 AMDA国際医療情報センター 東京8-16503
銀行 太陽神戸三井銀行桜新町支店 店番658 普通預金5385716
AMDA国際医療情報センター所長 小林米幸
 - 2) 入会申込、入会金、年会費はAMDA事務局(岡山)へ
郵便振替口座「アジア医師連絡協議会: 岡山5-40709」

外国人に 無料医療相談

日本の言語や言葉の壁を前に病院に行くことをためらうがちな在日外国人のために、民間の医師グループが先月開設した無料相談窓口は、賛否に悩む外国人からの相談が相次いでいる。「言葉が通じ、安く診察してくれる医者は」とのアジア留学生から、診療システムの違いで「プライバ

言葉や習慣の悩み続々

民間医師グループが開設

「協力医広げたい」

この相談窓口は「アジア医師連絡協議会(AMDA)」(青波茂代表、会員四十人、事務局岡山山手)が開設した「AMDA国際医療情報センター」(東京都世田谷区、栗原一郎事務局長)の中に設け、アジア各国の援助などで行なっている。

四月十七日からスタートしたが、これまでに寄せられた外国人からの相談は予想を大きく上回り七十件を超えた。国別では医療サービスが受けられるように、全国人以上の医師の「デシナ」(フィリピン・パ

キスタン)各人などアジアの留学生、労働者からの相談は数以上。

欧米人からは「万が一に備えて身近に英語のできる医師をとの望みのほか、周囲に相談しにくい皮膚科や神経科、婦人科などの病気で相談してくる例が多いという。電話相談で難しいのは、診療システムの違いから生じる患者の「プライバシー」問題。「妊娠したらしい」との

米国人女性に、年齢や出産歴などを尋ねたところ「なぜそこまできねはならぬのか」と切り返されたこともあったという。

一方、アジアの留学生や労働者からの相談は、言葉の壁のほか医療にまつわる切実なものが多い。外国人でも、一年以上日本に滞在することがビザで証明できれば国民健康保険に加入できる。しかしその事実を知らなかったり、不法な滞在のために未加入の場合が多く、治療を受けたとしても、高額な医療費をしり込みし、病状が悪化するま

で我慢しているケースがほとんどだという。

慢性疾患で長期の治療が必要な患者の中には、治療費が納めず途中で治療を打ち切り本国へ戻ってしまった人も。こうした者からの相談は、言葉の壁のほか医療にまつわる切実なものが多い。外国人でも、一年以上日本に滞在することがビザで証明できれば国民健康保険に加入できる。しかしその事実を知らなかったり、不法な滞在のために未加入の場合が多く、治療を受けたとしても、高額な医療費をしり込みし、病状が悪化するま



外国人からの相談に追われるAMDA国際医療情報センター(東京・世田谷区で)



医療習慣の違いに議論が集中したシンポ

苦書の現
て、提示して行く。

深刻な在日外国人の医療

在日外国人の医療問題
を考へるシンポジウムが
十一日、東京都新宿区内
で開かれ、言葉のほかに、
国の医療習慣の違いが医
師と患者の見
え方の壁にな
っていること
が指摘され
た。

シンポは、
アジアの医師
や看護婦のついでに「ア
ジア医師連絡協議会(A
MDA、曾波茂代彦と
「アジア看護協議会(A
NSA、本下優子代彦)
が主催した。患者の八割
は欧米人という私立リ
ニック医師、藤井功一さ
ん、在日外国人看護婦協
会員でアメリカ人の丸山

メレデスさん、都内の病
院で診療にあたるパンク
ラッシュのナイーム・
サラタルアブドゥンさん
と中国人の鄭雅麗さん、
外国人が困ることとし
てシンポジスト全員が指
摘したのは言葉の壁、受
け付けのスタッフに英語

英語通じぬ窓口

食事や入浴にも困る入院

七年間難病として来日
今は大和住宅促進シタ
ー(神奈川県大和市)で
通訳として難病を手助け
する那須ニユウ・ソチア
タさんがシンポジストと
して参加。七カ国語を通
訳するスタッフのいる診
療科を開業する小林米幸
さんが進行役を務めた。

言葉や習慣の違いがカベ

医療はいつからとどろき、
き、子供がどうも熱っぽい
のでお風呂に入らずに寝か
せました。夜中に熱が高く
い。
「親切丁寧な説明のよう
で、き、子供がどうも熱っぽい
のでお風呂に入らずに寝か
せました。夜中に熱が高く
い。

家庭

外国人が困ることとし
てシンポジスト全員が指
摘したのは言葉の壁、受
け付けのスタッフに英語

シンポで指摘

女性診察でも注文が
相次いだ。バンクラシ
ユでは女性患者は女医が
診るし、中国でも産婦人
科医はほとんどが女性。
東南アジアでは聴診器も
ブラウスや下着の上から
あてるのが普通という。
入院生活の場合、問題
はもっと深刻だ。フタ肉
を食べないイスラム教
徒、牛肉を食べないヒン
ドゥ教徒、菜食主義者
「高熱の子供でも長時間
待たされ、検査、診療の
後、薬をもらえぬのが日
本。母親はなぜ医者は何
もしないのか、と通訳の
私に訴える。」と患者の不安を代弁した。
難民が万一の場合に備
えてタイヤを自分のもの
に埋め込むことも珍しく
ないが、金が限ればなり
タイヤの摘出手術を医師
に頼んでも、日本ではど
こへいっても断られたと
いうケースも報告され
た。

モ

ハモの腫瘍は癌である
と言われる。その通り鋭い
端を持ち、上あごに列、
下あごに一列という特徴
ある並び方をしており、一
イチゴ・晩カン類が終わり、ヒラ
・サクランボが始まる前のこの時
期、一番のメロン商品はメロンと
イカである。春先の全国的な日照不
足の影響で、メロン・スイカとも出

それと似た物、便、尿
など恥ずかしがらうに
「実物を持参してほしい。
百聞は一見にしかずです。
した。(小児科医)

ロンドン便り（第3報）

1月に入ってからずっと就職難のどん底にいて、なかなか筆がはこびませんでした。国際医療協力の分野で十分実績のない医師が就職に苦しむことは予想はできたことですが、ロンドン大学の資格に多少の望みをかけていた自分には現実の風は予想以上にきびしかったといえます。

しかし決して飽らめた訳ではありません。家族をかかえ、ここで夢破れてたまるかといった心境で、今回は就職へのアプローチをレビューしてみます。

- 1) 臨床：臨床系ではまず十分な技術と数年以上の熱帯での診療経験がない限り、保障された就職の道は難しいといえます。一方日本から見ればこちらでは技術と経験さえあれば、アフリカや中東を中心に全世界に就職の機会があるともいえます（元植民地の影響も強いですが）。
（熱帯での医師、看護婦、パラメディックスの為の一番すぐれている就職情報紙 The Health Exchange を同封します。興味のある人は安いので是非購読して下さい）技術や経験の未熟な若い医師が、熱帯で就職が難しい要因としては2つの大きな時代の変化があると思われます。1つは先進国の医師たち誰もが歓迎された時代は終り、途上国が自力で医師を養成できるようになったことです。つまり都市病院では、指導医クラスの人材とハイテクが要求されているのです。もう1つの変化は先進国側で主なる感染症が減り、熱帯病に対する社会的関心がなくなり、医師の働く場が消滅してきていることです。したがって技術や経験の乏しい若い医師には、現地人医師のいやがる劣悪な条件の郡地にある、ミッション病院・診療所等が唯一のチャンスになります。事実ヨーロッパの連中はそこを大切なウィンドーとしています。臨床熱帯病の専門家を先進国の中にも絶やさない為にも、若い医師が多少のリスクをおかしてロンドン大学やリバプール大学の3ヶ月の熱帯病のショートコース（DTM&H）を経た後1～2年間熱帯で臨床経験つかむことが特に熱帯病の臨床家のない日本にとっては貴重な財産になると信じます。情報紙をチェックして下さい。
- 2) 行政：臨床を通じての熱帯へのアプローチがニードが無くなっている一方、浮上しているもう一つの柱が公衆衛生、疫学を通した行政からのアプローチです。この分野での専門家は途上国でも絶対的と不足していて、また経済の好転しない途上国では病院供与等よりも長期的に費用効果が高いと考えられています。
（事実は決してどちらが大事かということではなく、臨床・研究・行政相方からのアプローチが重要なのですが）ここロンドン大学でも臨床熱帯病、寄生虫中心から公衆衛生、疫学に重点を移しています。この分野で働く最良の場は、グローバルな達成目標をもっているWHO UNICEF OXFAM Save The Children Fund 等の国連、国際援助機関（マルチ）です。前提として資格・経験・語学力が問われます

- 1、日本では厚生省に入りWHOへ出向する。(待つかもしれませんがWHOへの最大のパイプです。AMDAでは牛尾光宏先生が経験者です)
 - 2、外務省で実施しているアソシエイト・プロフェッショナル・オフィサー(APO)(24~32才まで)に応募する。(これはWHOの空席に1~2年契約で若い人材を投入する制度で現在僕の同級生の大菅克知先生が申請中です。募集要綱同封します。)
 - 3、長期計画になりますが、奨学金があればロンドン大学(ハーバード・ジョンズ・ホプキンス CDC等)の公衆衛生免学の教室に入って、Ph・Dとしてアプライする道はあります。
 - 4、二国間(バイラテラル)としては、現在国立病院医療センターの国際医療協力部がJICAの仕事を委託され、国際機関との連絡もあり、日本では唯一の安定して働く場になりつつあります。
(AMDAでは野内英樹先生が活躍中です。)
- 3) 研究: 卒後、寄生虫・結核・らい・AIDS・細菌学・ウイルス学等の研究をして、専門家としてマルチならWHO、バイならJICAを通して仕事をする事です。自分の学問的興味もあわせフィールドとアクセスできる研究施設を選ぶことが難しいでしょうが、ニーズはコンスタントにあり、人材の不可欠な分野です。
(ロンドン大学の寄生虫教室では、日本人で元ナースで青年協力隊員だった一盛和世先生が一昨年Ph・Dを取得し、現在JICAから派遣され、タンザニアでマラリア専門家として活躍しています。(スゴイ! 後日紹介) 来年度は、長崎の熱医師の寄生虫を入ったAMDAの高橋央先生が1年間のマスターをやる予定です。AMDAの川上剛先生JICAからタイへ公衆衛生の専門家として短期に出ています。)
- 4) NGO: 最後になりましたが、最も大事なAMDAからのアプローチです。今まで資金が乏しく、十分な給与基盤をつくれないう弱点がありましたが、現在、菅波茂先生を源動力としてAMDAのプロジェクトに専属できる医師をもったプロのNGOとして展開しつつあります。AMDAは政府や国際機関にはないもう1つの熱帯へのウィンドンになります。人材は政府や国連のような固いワクはなくOpenになりますが、その分個人個人の熱帯にかける情熱と正しい知識が問われるともいえます。
- 5) その他: 1 熱帯での日本人診療所(現在AMDAの広田真由美先生がシンガポールでがんばっています。)
2 外務省大使館つぎ国務官(高橋央先生のお兄様がバングラディシュにいます。)

熱帯地域で生活をする貴重な体験になりますが、熱帯病やフィールドの問題を知るには個人の努力が要求されると思われます。

現実はいかに想像している以上に厳しいものです。地球規模で疾病問題を知り、互いの共存のための対策をとる為の国際医療協力の分野で人材を育てるステップが欠如していることは残念なことです。しかし今、各自が目の前が真っ暗になるような思いを何度もしてボランティアや留学等を経て、さまざまなアプローチを試み個人個人が国際医療協力を支える不可欠な人材になるそんな時期に入っていると確信します。

僕は現在、拡大予防接種計画（EPI）のポリオ根絶計画のマネージャーとして、国立病院医療センターとWHOへのアプローチを数々の人にはげまされながらあきらめずに続けています。

確かに小さなウィンドウしかありませんが、是非自分でそばまで行って、その窓をたたいてみて下さい。かっこよく開かなくてもいいのです。欧米の連中のスゴイところは、高いところにあるどんな小さな窓でも、どんだんたたいてあけて、風や光を入れているところです。日本でも多くの仲間がトライして小さな窓を少しでも数多くあけられたら、自分たちだけでなく、中にいる人達にも外が見えるようになると思えてくるのですが。

僕のいつも帰る場所はAMDAです。自分の失敗を含めたすべてをAMDAの仲間に残します。お互い頑張りましょう。

遠田 耕平

1991年4月26日

クルド難民・湾岸戦争被災民救援NGO合同委員会

アジア医師連絡協議会

(学)アジア学院

NGO活動推進センター

幼い難民を考える会

(財)家族計画国際協力財団

(社福)基督教児童福祉会・国際精神里親運動部

国際難民奉仕会 (R.I. ジャパン)

国際保健協力市民の会

シャプラニール＝市民による海外協力の会

世界の子どもと手をつなぐ会

曹洞宗ボランティア会

(社)日本キリスト教海外医療協力会

日本国際ボランティアセンター

ハンガー・プロジェクト

モラロジー国際救援運動推進委員会

立正佼成会平和基金

(4月26日現在)

クルド難民及び湾岸戦争被災民に関する声明

世界を震撼とさせた湾岸戦争は、避難民の大量流失、イラクとクウェート両国国内の破壊、湾岸海域の環境汚染、そして、数多くの尊い人命の損失と、中東の人々にさまざまな悲劇をもたらして終結いたしました。また、パレスチナの人々の問題の深刻さと重要性が改めて世界に問いかけられました。

戦争が終わり、苦難の中にも平和を取り戻し、国土再建の槌音が聞こえるかに見えたが、イラク国内の内線が始まり、クルド人をはじめとする難民の大量発生という新たな事態を生み出しています。今、イラクに隣接するイランとトルコ両国国境地帯には、不安と欠乏におびえる約170万人の難民があふれ、極限的な状態の中で生死の境をさまよっていると報じられています。また、イラク国内に残された約1,600万人の一般の被災民も生活基盤を破壊され、厳しい状況に置かれています。

今後なおも予想される難民の増加、ますます迫いつめられていくと思われる難民の人々の緊急事態、そして、イラク国内の社会情勢の混乱は、周辺国にさまざまな影響を波及させながら、大きな国際問題に発展していくことが懸念されます。

わたしたち海外協力活動を行う15の市民組織（NGO）は、人道的な立場から、緊急かつ適切な市民による救援活動の実施、難民及び被災民の人権擁護、そして、市民と市民の連帯を共通の目的に「クルド難民・湾岸戦争被災民救援NGO合同委員会（略称：クルド・湾岸NGO合同委員会）」を発足させることになりました。

こうした緊急事態には、お互いが持つ独自の情報を共有し合うと共に、これまで蓄積してきた経験や叡智を結集し、意を共にするNGOの総力を挙げて対処していくことが望ましいと考えたからです。また、このような事態においては、その突出した現象のみを拡大して捉えるのではなく、さまざまな視点から複眼的、総合的に現状を見つめていくことが必要であります。幸い本委員会に加入するNGOは、それぞれ独自の哲学を持ち、独自の方法で活動してきた経験を持っています。そして、多くの市民によって支えられてきています。かかるNGOの視点、市民の視点から情報を発していくことは、NGOに課せられた重要な役割であると確信いたします。

現在、わたしたちNGOに対し、国連機関等より協力要請が寄せられる一方、私たちのメンバーが現地入りしており、詳細な調査活動を行っております。今後、こうした調査に基づき、関係機関との協力の上、緊急物資の提供や必要な人材の派遣等の準備を進めていきたいと考えております。

市民の方々には、現地の状況をご理解いただくとともに、わたしたちの趣旨にご賛同いただき、これら救援活動に必要な経費をまかなうための募金活動にご協力をお願いいたします。

難民及び被災民という境遇に置かれた人々が、人間としての尊厳を回復し、中東に一刻も早く平和が訪れることを切に願います。

きれいな飲み水がない！

忍び寄る伝染病

クルド人キャンプ 救援合同委が報告会

「衛生面の援助優先に」

「きれいな水と衛生管理面の援助が最優先」。トルコ、イラン国境周辺のクルド人難民のキャンプを視察して帰国した青森県ボランティア会の青森建設事務所次長三宅が十一日午後、東京・神田のYMCAで開かれた「クルド難民・避難民・避難民・民間NGO合同委員会」（有馬実成委員長、主催の報告会）で約八人に訴えた。



行列を作って水の配給を待つクルド人難民＝トルコ・イシュクバレンキャンプで、吉川達治さん撮影

吉川さんは四月二十三日、民間ボランティア十三団体で旗揚げした合同委員会（現在十六団体）の調査として、約二十日間にわたりトルコ、イラン国境のクルド人難民の様子と各国NGOの活動状況を見てきた。

トルコでの調査は米、英、軍や国連難民高等弁務事務所（UNHCR）、世界各国の援助団体が拠点にしている南東部のティンキバールを中心に、難民数十万五千人のイシュクバレンキャンプなどを視察。イランでは、難民流入の一番激しいバクラン県のキャンプを見学した。

報告によると、トルコのイラン国境周辺には米軍発表で約七十万人が東西約三百キロの山脈に沿って点在する十四のキャンプに集まっている。米軍などの空輸作戦で食料、飲料水はかならずトルコの医師団だけ。

ろうじて各キャンプに届き、餓死する人は減っているが、約一割の難民分のテントが不足、多くの人がビニールシートやダンボールで雨露をしのいでいる。キャンプ内は、ゴミと食べ残のヤギなどの動物の死体が散乱し、衛生状態は劣悪。三十の欧米などのボランティア団体は、泉の水を生活用水としてキャンプに入れることを最優先課題にしているという。しかし、各国ボランティアも大半が現地調査の段階で、本格的に活動しているのは、約百十人の医師と二、三百人の看護婦、技師を投入したフランスの医師団だけ。

一方、イランの難民は国内に約百万人。ドイツ軍の空輸や各県の自治体の運搬で、一応食料は足りている。しかし、給水車で運ばれる各キャンプの水が汚染されており、多い日で一日約三千人が死んでいるといふことも、きれいな水の確保が課題で、コレラ、腸チフスなど伝染病の発生で大量死の恐れがある。

吉川さんは、「イランにはまだ医師のいないキャンプが多い。イランは国境で欧米人の入国は厳しいが、日本には門戸を開いている。われわれの活動もイランの方が効果が上げられるのでは……」と説明した。

医療チーム足りない！

救援長期化で求人広告

イランのクルド人難民地域は、外務省ではきょう十二日から新聞やテレビに異例の求人広告を出し、ボランティアを探している。活動の長期化によりメンバーが不足する恐れが出てきた。このままならチームの縮小にも追い込まれないことが、イラン北西部の西アゼルバイジャン州オシナヒエで活動の合同に参加して日本

に帰らなければならない。後援チームを編成するため、同省と国際協力事業団は同事業団に登録している医師らに要請を続けているが、人員の確保が困難な状況。特に国内でも不足が深刻な看護婦は「参加したいが職場の都合でも無理」という返事がほとんどだ。同省の須永和男・経済協力局技術協力課首席事務官は「原則として二十歳以上六十歳未満の方。ボランティア経験のない方にも積極的に応募してもらえば」と期待している。

AMDA総会のお知らせ

AMDA、AMSA、ANSA合同の総会を東京早稲田奉仕園にて行ないます。

日時：1991年6月8、9日
(土、日)

場所：早稲田奉仕園

〒169 東京都新宿区西早稲田

早稲田奉仕園セミナーハウス

TEL 03-3205-5411

8日(土)：PM 5:00 - PM 9:00

9日(日)：AM 9:00 - PM 1:00

- 議案：
1. AMDA、国際医療情報センターについて
 2. 「在日外国人の医療を考える」全国シンポジウム
 3. Asian Medical Network
- ネパール、バングラデシュ、フィリピン、タイについて
 4. AMDA活動報告、計画について
 5. AMDA、International会議について
 6. AMDA会費改訂について
 7. AMDA多国籍医師団について
 8. 林原フォーラム
その他を予定

総会に向けての、ご意見、ご提案をお待ちしています。

宿泊：1泊4000円程度で可能

問い合わせ：AMDA国際医療情報センター

TEL. 03-3706-4243 or 3706-7574

または正会員：高橋 央先生の所までお願いします

TEL 03-3701-5220 (PM10:00までをお願いします)

【事務局よりのお知らせ】

AMDAカレンダー（6－8月）

6月8、9日（土、日）：AMDA、AMSA、ANSA合同総会－東京
早稲田奉仕園

6月23日（日）：AMDA在日外国人の医療を考えるシンポジウム－岡山
岡山市民会館 PM 2:00-PM 4:30

7月7日（日）：AMDAセミナー”良く知ろう日本の医療制度”
藤沢市湘南台公民館

8月17-19日（金－日）：林原、AMDA合同シンポジウム－岡山
「開発途上国における産業医学，バイオリジカル・モニタリング」

8月24-25日（土、日）：日本国際保健医療学会－東京市ヶ谷JICA研修所
サテライトシンポジウムでAMDAが「在日外国人の医療問題を担当」

－訂正－：先月号で岡山におけるシンポジウムの日時が24日になっていましたが23日の誤りでした。お詫びして訂正致します。

【第8回タイ国際保健研修のお知らせ】

募集人員：20-30人

対象：学生（医学生、看護学生等）、一般（医師、看護婦、栄養士、教師等）

研修場所：タイ国AIHD

（Asean Institute for Primary Health Care Development）

日時：1991年7月29日－8月8日

7月28日現地集合

費用：550米ドル（タイ国内の食事、宿泊、交通費を含む、ただし日本タイ間の航空機運賃は含まない）

参加申し込み、問い合わせ先：

〒920金沢市宝町13-3金沢大学衛生学教室

TEL0762-62-8151（内線2279）

担当 林正男、斉藤早苗

このコースに関する概略は「タイ国プライマリー・ヘルス・ケア国際研修－その評価の試み」林、川上、Som-archらの論文、日本公衆衛生学会雑誌1991年1月号も参照して下さい。

【編集後記】

ペルシャ湾岸戦争，クルド人難民問題，バングラデシュのサイクロンとアジア情勢もめまぐるしく変化するこのごろですが，そろそろAMDAの出番もやってくるのでしょうか．AMDA総会での諸会員の御意見を期待しています．（Y）

【AMDA入会の案内】

AMDA（アムダ：Association of Medical Doctors for Asia）は、1984に設立した、国際NGO（非営利民間団体）で現在13カ国約200人のアジア諸国の青年医師により構成されています。

主な、活動に下記のようなプログラムを行っています。

1. フィリピンのスラムにおけるヘルスセンターの運営
2. インドのアユルヴェーダ医学の研究
3. ネパールの巡回診療所
4. 在日外国人支援医療ネットワーク

入会方法：郵便振替用紙にて所定の年会費を納入して下さい。入会金は有りません。

正会員：10,000円／年（医師に限る）

準会員：3,000円／年（医師以外のどなたでも入会できます）

ただし、会計年度は4月－翌年3月です。入会の月より、会報を送付致します。

振替先：郵便振替口座「アジア医師連絡協議会：岡山 5-40709」

6月のAMDA総会で準会員の年会費が3000円から5000円へと値上げされる見込みです。準会員の方で年会費を振り込まれる方は恐れ入りますが、正式に決定されるまでは現行年会費3000円プラス、カンパ2000円を振り込んで下さるようお願いいたします。

入会の問い合わせ先：〒701-12 岡山市櫛津310-1

菅波内科医院内

TEL. 0862-84-7676

菅波茂、山本秀樹

AMDA外国人医療ネットワークの問い合わせ：

AMDA国際医療情報センター

〒154 東京都世田谷区新町2-7-1 横尾ビル201号

TEL. 03-3706-4243 FAX 03-3706-4420

-7574

AM 9:00 - PM 5:00 （月－金）

AM 9:00 - PM 1:00 （土）

小林国際クリニック

〒242 神奈川県大和市西鶴間3-5-6-11

TEL. 0462-63-1380 FAX 0462-63-0919

AM 9:00 - PM 5:00 （月火木金）

AM 9:00 - PM 1:00 （土）

AMDA国際医療センター運営協力者

(順不同敬称略)

以下の方々にご協力いただいています。有難うございます。

個人

丹羽章(栃木県)、故尾沢一郎氏ご家族(神奈川県)、大串孝子(神奈川県)

医療機関

井上病院(千葉市)、青梅慶友病院(東京-青梅市)、富士見病院(東京-板橋区)、町谷原病院(東京-町田市)、六本木赤枝診療所(東京-港区)、小林国際クリニック(神奈川-大和市)、菅波内科医院(岡山市)、ジャパングリーンクリニック(シンガポール/英国)、沖縄セントラル病院(沖縄-那覇市)

会社(医療関係)

(株)エーザイ、カネボウ(株)、三共製薬(株)、昭和メディカルサイエンス(株)、ジョンソン&ジョンソンメディカルCo.、大鵬薬品(株)、東邦薬品(株)、ファイザー製薬(株)、福神(株)、保健科学研究所(株)

会社(その他)

富士コカコーラボトラーズ(株)、
この他12社程ご協力についてのご内諾をいただいています。